

各付託委員会で審査された主な議案

企画総務常任委員会

議案第 98 号 (12 月 19 日全会一致で可決)

「三田市 MCA 防災行政無線の取得について」

災害発生時の避難勧告等を適切に市民に伝達する手段として、土砂災害警戒区域内及び浸水想定区域内に防災行政無線を整備し、情報伝達手段の多様化を図ることで、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することを目的に三田市 MCA 防災行政無線 (複数の周波数を多数の利用者が効率よく使える業務用無線通信方式の一つ) を取得しようとするもの。

他6件

福祉教育常任委員会

議案第 89 号 (12 月 19 日全会一致で可決)

「三田市避難行動要支援者名簿に関する条例の制定について」

避難行動要支援者に対する避難支援等を実施するための基礎となる名簿の作成及び避難支援等関係者への同名簿の提供に関し必要な事項を定めることにより、避難支援等関係者による災害時の円滑かつ迅速な避難支援等の実施を支援し、避難行動要支援者の生命又は身体を災害から保護することを目的として、この条例及び施行規則を制定しようとするもの。

他4件

都市環境常任委員会

議案第 100 号 (12 月 19 日全会一致で可決)

「三田市まちづくり協働センター条例の一部を改正する条例の制定について」

高齢者や若者等の社会的弱者を狙う悪質商法の巧妙化に伴い、市の消費生活相談センターへの相談件数が急増するなど、状況の変化への対応が急がれる。このため消費生活相談で浮かび上がってきた課題をスピーディに消費者教育や啓発活動にも連動させるため、消費生活プラザを廃止し、消費生活センターを設置しようとするために、この条例を改正しようとするもの。

他9件

予算決算常任委員会

報告第 5 号 (12 月 19 日全会一致で承認)

「専決処分事項の報告及びこれの承認を求めることについて (平成26年度三田市一般会計補正予算 (第5号))」

台風 11 号及び 19 号による市内の農地・農業用施設の災害に対する復旧事業を執行するにあたり、早急に予算の補正をする必要が生じ、専決処分したのでこれを報告するもの。

(報告内容)

歳入歳出予算に、それぞれ85,516千円を追加する。

他7件

● 議案内容等の詳細は、三田市議会ホームページの「審議予定・結果」をご覧ください。●



ありがとう 本会議場

昭和 35 年の庁舎完成以来、数々の歴史を刻んできたこの本会議場も、12 月定例会をもって幕を閉じました。新庁舎移転にともない現在の庁舎も取り壊されます。

長きにわたり続いてきた議会運営は、先人たちの思いとともに新しい庁舎へと引き継がれます。



▲昨年末に開催された内覧会 (1階) のようす



▲6階が市議会のフロアになります。

そして新しい時代へ

三田市議会は 1 月 26 日から新庁舎での業務を開始いたします。

一新された本会議場などを拠点に、これまで以上に議会の活性化を図るとともに、より市民に関われた議会をめざして邁進してまいります。



昭和52年の本会議

議会ヒストリー vol.6

財政危機～紛糾する議会

昭和50年度初めに財政悪化に気づきながら、市が市有地の一部を売却し学校校舎の増改築を行うなどしたため決算は3億6000万円の赤字となりました。市議会はこれを批判し、決算が付託された決算特別委員会では認定しないという結論に至ったと報告、一部の会派からは、不合理・疑問だらけの決算であるとの反対討論が出されました。一方で重要課題が山積しているときに不認定とすることの影響を懸念した賛成意見も出されましたが、最終的には起立少数で不認定となりました。市の財政悪化は翌51年度以降も続き、議員の一般質問でも批判が集中したことから、初めて質問に丸々2日を割くなど、この時代は財政再建が至上命題になっていたことが分かります。

本会議の
お知らせ

第 330 回 3 月定例会の開催予定は市のホームページをご覧ください。(2月中旬に掲載予定)

三田市ホームページ → 三田市議会 → 三田市議会からのお知らせ クリック